
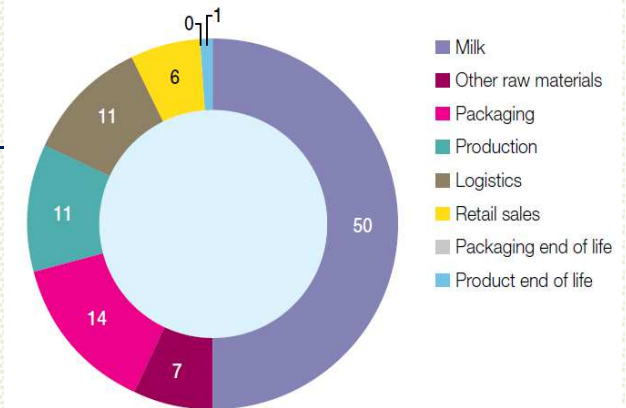


	各社の考え方
□ 算定を行う背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 農場、サプライヤーの立地、輸送手段、パッケージなどにおける活動を経済的・環境的に最適化するため、2007年からLCAを行っており、その一環としてGHGの算定を始めた。 ● サプライチェーン排出量を算定することは環境保全のための一つの手段であると認識しているものの、GHGだけが全てではなく、LCAを通じて広範な取組を行っている。
□ 算定結果の活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ● CDPにおいて報告を行っている他では、一般向けとしてサステナビリティ報告書などで報告は行って。ただし、消費者については、現時点ではこのトピックについて十分な理解がなされているとは言えない。 ● 削減の取組や排出量の情報を正確に評価、理解してもらうためには、統一化された詳細な算定のルールが必要である。 ● 一方で製品のカーボンフットプリントのオフセットをしている、という内容については消費者の理解を得やすく、実際にDanoneではエヴィアンの排出量を2011年10月から100%オフセットしている。このオフセットの取組は2007年以降の排出削減の40%になる。 <p>The Livelihoods project of restoration of mangroves in Senegal validated by the United Nations <small>Reblogged from Livelihoods.eu :</small></p> 
□ 算定のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope3だけでなくLCAを行うことのメリットは、企業としてのリスク管理、サプライチェーンマネジメントによるコストカットが環境保全と同時に達成できることである。
□ 算定方法	<ul style="list-style-type: none"> ● LCAについてはPAS2050に基づいて算定を行っている。 ● また、2011年からはScope1,2についてはGHGプロトコルの基準に基づいて算定している。
□ 社内の算定体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界中のグループ企業にGHGに関する専門家がおり、この専門家がそれぞれのLCA情報をインプットすることで、グループ全体の情報を収集し、世界全体でのフットプリントを計算している。 ● データの信頼性向上には継続性が非常に重要であり、専門的な知識を持つ人材を継続的に育成・確保することが重要である。

	各社の考え方
<p>□ サプライチェーン排出量の削減に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● Danoneでは2009年以降、サプライヤーとの間でCarbon Pactsという協定を結んでおり、この協定に基づき、サプライヤーとDanoneの専門知識を活用し、協働してサプライチェーン排出量の報告、削減に取り組んでいる。 ● 例えば、品質の改善とともに乳牛からのメタン排出を減らせるような飼料の情報など、最新技術を用いた取り組みを行っている。
<p>□ サプライチェーン排出量算定の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 算定のための課題としては共通して使用可能な原単位の整備などが挙げられる。 ● また、算定方法や算定の結果を示すための公開ルールなど共通のガイドラインが整備されていないことも課題である。 ● さらに、その結果を消費者が正しく理解するにはまだ時間がかかるということがGHGの情報を開示する障害になっている。 ● 大きな投資を伴い、他の企業等と連携して取り組んだサプライチェーン排出量の算定や削減の取り組みが、十分に評価されるような仕組みを作ることが必要である。
<p>□ これからサプライチェーン排出量を算定する方へ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● サプライヤーと協働して排出削減の取組を行い、そのメリットをともに享受するために、サプライチェーン排出量を算定することに対する目的や関心をサプライヤーと共有することが重要である。 ● その目的を達成することができれば、双方にとってコスト削減、新たな顧客の獲得、企業価値の向上などのメリットがある。

Carbon footprint at group level (in %)



Total scope: 578 g eq CO₂/kg product
Danone's scope of direct responsibility:
 217 g eq CO₂/kg product